

# 第3回よさの地域デザイン会議（岩滝地域）を開催しました

12月10日（金）知遊館あじさいホールで、「第3回よさの地域デザイン会議（岩滝地域）」を開催しました。「よさの地域デザイン会議」とは、持続可能なまちづくりにおける公共サービス・公共施設のあり方について、住民の方々との対話により多彩なアイデアや提案を収集する場です。

第1回の「利用圏域」、第2回の「施設の集約、機能の複合化」に続いて、地域別会議としては最後となる今回のテーマは「担い手」。

過去2回にわたって意見交換し整理した内容と、加悦地域、野田川地域を含むすべての地域のメンバーが一堂に会した全体会（11月21日開催）において、「まちに1つあったら良い公共サービス（施設）のあり方」について出された意見を参考に、再度、グループごとに「利用圏域」、「施設の集約、機能の複合化」について意見を出し合ったあと、「A 行政で運営（直営）」、「B 民間や住民団体と協力（協働）」、「C 民間や町民団体に任せる（民間直営）」、「D その他」について意見を出し合いました。

グループごとに意見の整理をすることが本日のゴール。この日のほとんどの時間を対話に費やし、3グループともゴールにたどり着きました。

（参加者 住民 10人、町職員 6人、傍聴者 0人  
ファシリテーター 福知山公立大学地域経営学部 教授 谷口 知弘 氏）

## 【会議の様子】



## 参加者のみなさまからの意見の一部を紹介します

### A グループ

- ◇公園といっても大きな公園（阿蘇シーなど）や小さな広場があり、大きさによって用途を分けて考える必要がある。（大きな公園にはナイターを設置し大人向、小さな広場は子供向け）
- ◇複合化する施設には、図書館や子育て支援センターなどを一体化し、交通手段も含めた検討が必要。また、集客が見込める利便性のよい施設にすることが必要。
- ◇北部医療センター周辺には、検診など医療関係の施設をまとめ、合理化を図る。（岩滝保健センターは常に閉館していて、貸室や貸会場となっているため集約する。など）
- ◇人口減少、予算削減で合理化を目的としているが、それまでにまだ人口を増加する施策を実施し、少しでも上向きよう努めることが必要。（雑誌で与謝野町の住みやすさ7位と上位だった。何か普段思いつかないことで人口増加が見込める。）

### B グループ

- ◇行政的な手続きをコンビニやオンライン等できるように。
- ◇多世代間交流を行う上で、高齢者を軸にして、公民館等においてコミュニケーションが取れるだけでなく、仕事をできるようになれば町の税収もあがり生きがいも見つかるようになる。
- ◇耐用年数が残っている施設については使い続け、耐用年数が過ぎた施設について統合を考えていく必要がある。
- ◇タクシーを利用する際、高齢者等に対する割引制度があれば町内も動きやすく、病院にも行きやすいので公共施設を統合しても利用しやすい。
- ◇小・中学校の図書館にある本が古いものばかりのため、図書館をこどもの居場所にできるような統合・複合も必要。
- ◇交通については、民間では採算が合わないため、最終的に町が運営していく必要があるのでは。
- ◇耐用年数の問題から、木造の建築物にすることも検討してほしい。

### C グループ

- ◇地区公民館の充実（サービスの複合化：役場窓口機能、高齢者や子供の集まる場所など）  
→民間の力も活用
- ◇小中学校は将来的には集約（町内の子どもが極端に減少した場合）
- ◇文化的施設（イベント施設、体育施設、図書館等）の複合化→民間の力も活用
- ◇阿蘇シーサイドパークに道の駅や、カフェなどの商業施設を複合化→公設民営
- ◇個人情報扱う等のサービス以外の部分については、民間の力を活用して行く余地があるのでは。

問い合わせ先

よさの地域デザイン会議事務局（与謝野町企画財政課）

電話 0772-43-9015（直通） FAX 0772-46-2851

メール kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp